

# 声掛け、援助 心込めて

室蘭・海星学院高生徒

## 市立病院でボランティア

室蘭・海星学院高校(香川謙二校長、232人)の生徒たちが25日から、市立室蘭総合病院の院内ボランティアに励んでいる。来院者や患者に対して、「おはようございます」「お大事にしてください」と声掛けをし、手を差し伸べている。



市立室蘭総合病院の院内ボランティアに励む室蘭・海星学院高校の生徒たち

同校の生徒たちは2009年(平成21年)から、夏、春の長期休暇に合わせて同院でボランティアを行っている。今回は1、2年生10人が参加。来月1月15日までの日程で、1日平均3人が、車椅子や再来受付機などの援助、入院患者病棟案内などに取り組む。

同院の八田美穂子ボランティアコーディネーターが「大きな声であいさつし、『お手伝いすることはないですか』と積極的な声を掛けてください」と助言し、初日は3人がローテーションで各持ち場を担当した。2年生の田村美菜さんは1年生の夏から毎回参加。「患者さんから『ご苦労さま』『ありがとう』と声を掛けていただいたときは、うれしい」と話していた。

(成田真梨子)